

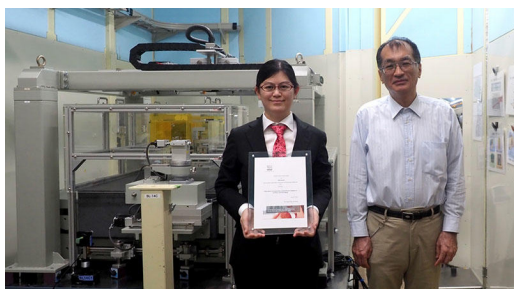
総研大の三木 宏美さんが Nestlé Young Scientist Award を受賞

物構研トピックス
2021年7月27日

7月12日～14日にオンラインで開催された国際会議、6th International Conference on Food Oral Processing（第6回食品の口腔処理に関する国際会議）において、総合研究大学院大学（総研大）高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻の三木 宏美さんが Nestlé Young Scientist Award を受賞しました。この国際会議は、歯科医学や栄養学、心理学、食品科学など口腔の活動や知覚、栄養や代謝、生理学や食品構造に関する分野を包括している、非常に学際的な学会です。

三木さんは、歯科医師として仕事をしながら、総研大に入学し、物質構造科学という新たな分野にチャレンジしています。この学会では、分離型X線干渉計を用いて、レトルト食品（一般米飯及び介護用食品）の内部構造の放射光X線イメージングを行い、得られた画像と食品テクスチャー特性との比較、分析を行うという、キャリアを活かした独創的な研究成果をポスター発表しました。受賞した Nestlé Young Scientist Award は、食品業界における製品やサービスにつながる可能性のある優れた研究を行った若手研究者に贈られる賞です。受賞者は2名で、それぞれに賞金として1000ユーロが贈られました。三木さんは、歯科医師のキャリアを持ちながら、他分野（物質構造科学）の博士課程で研究をしていることと、放射光イメージングと介護食品の組み合わせの新規性が評価され、受賞となりました。

日本時間で7月15日の午前1時ごろに受賞の知らせを受けたという三木さんは、深夜だったこともあり最初は実感がなかったそうですが、一夜明けて徐々に嬉しさと驚きの気持ちが湧いてきたとのこと。「食品科学分野での放射光イメージングは決して主流の研究ではないので、まさか賞を貰えると思っていませんでした。とても嬉しいです。今回の受賞を励みに、あと2年博士課程での研究を頑張ります」と、今後の意気込みを語ってくれました。



研究に使ったフォトンファクトリー BL-14C の大型干渉計の前で、指導教員の平野 馨一 准教授と。

PF トピックス一覧（5月～7月）

PF のホームページ (<https://www2.kek.jp/imss/pf/>) では、PF に関する研究成果やイベント、トピックスなどを順次掲載しています。各トピックスの詳細は PF ホームページをご覧ください。

2021年5月～7月に紹介された PF トピックス一覧

- 5.10 【プレスリリース】志賀毒素の毒性発揮に必要な2つのユニットを共通して阻害する分子を発見—新たな O157 感染症治療薬開発に期待—
- 5.21 【トピックス】KEK ウィンター・サイエンスキャンプ2020をオンラインで開催
- 5.25 【プレスリリース】金属を持たない新たな炭酸脱水酵素を発見—生物が二酸化炭素を変換する多様な仕組み—
- 5.28 【KEK エッセイ #44】加速器と生体分子研究をつなぐ「お皿」のひみつ
- 6.3 【物構研ハイライト】「地球に生命をもたらしたものの」が小惑星の探査で分かるわけ—小惑星探査機はやぶさ2が持ち帰った小惑星リュウグウ試料の分析—
- 6.4 【物構研トピックス】小天体探査ミッションに選ばれた人—東北大学 中村智樹教授—
- 6.11 【KEK のひと #48】「難しいことに挑戦するのがおもしろい」 田中オリガさん
- 6.22 【物構研 News】No.33 掲載
- 6.24 【プレスリリース】次世代有機 LED 材料の電子の動きを直接観察することに成功—発光効率低下の原因を解明—
- 6.24 【トピックス】物構研のリュウグウ試料分析特設ページができました—「はやぶさ2」微粒子分析—
- 7.6 【プレスリリース】被ばく線量が少ない細胞では細胞質への被ばくの有無が生と死を分ける—放射光X線を用いた細胞局所照射技術で解明—
- 7.13 【トピックス】国立科学博物館で企画展「加速器—とてつもなく大きな実験施設で宇宙と物質と生命の謎に挑んでみた—」が始まりました
- 7.14 【トピックス】国立科学博物館で企画展「加速器—とてつもなく大きな実験施設で宇宙と物質と生命の謎に挑んでみた—」が始まりました
- 7.21 【プレスリリース】脱窒菌から取り出した亜硝酸還元酵素の構造解析に成功 高精度クライオ電子顕微鏡の画像を解析 環境浄化技術の開発に期待
- 7.27 【物構研トピックス】総研大の三木 宏美さんが Nestlé Young Scientist Award を受賞